

学 科 名 安全システム建設工学科
教員 氏名 角道弘文



研究キーワード: 田園空間デザイン、水辺、景観、生物多様性、水資源

最近の研究課題

1. 生物生息空間としての水辺の評価

ため池や水路は水辺に暮らす生き物の宝庫であり、希少種も数多く生活しています。生物多様性を保全する意味で、様々な生物相の生息空間となるよう、ため池や水路の水辺環境の保全対策について研究しています。これにより、豊かな自然環境に恵まれた田園空間のデザインを提案しています。



2. 水辺の景観的価値の評価

ため池や水路は、古くから地域に根ざし自然に溶けこんでいる水辺です。例えば、石積水路を流れるせせらぎは、住環境の快適性を演出するデザイン性の優れた景観要素といえるでしょう。人工的につくられた水辺の景観的価値を評価し、今後の水辺の保全管理のあり方について研究しています。



3. 水資源の管理

ダムやため池により確保された水は、私たちの生活や産業に欠かせません。一方で、地球温暖化や異常気象によって、想定外の深刻な水不足に陥る心配もあります。水資源管理には2つの大きな使命があります。一つは、水需要に応じられるよう水供給をしっかりと行うことで、もう一つは、渇水時には、今後を予測しながら、水供給量を抑えた運用を行うことです。そこで、水を無駄なく有効に供給しつつ、同時に、将来の渇水の備えも行うといった水資源の管理手法の開発を行っています。



高校生の皆さんへ

地球温暖化と同様、生物多様性の危機は深刻な環境問題です。また、生物多様性がもたらす自然の恵みを維持しようとする考えは、自然環境と調和のとれたまちづくりをデザインするうえで重要です。自然環境に関心のある人、フィールドワークが好きな人、自然環境との共生を目指す田園空間のデザインについて、ぜひ一緒に学びましょう。

連絡先: kakudo <@> eng.kagawa-u.ac.jp [<@> は @ に変更してください]